

2024年度（令和6年度）学校経営方針

学校教育目標

- 自らよく学び創造力のある生徒（知）～確かな学力 「問題解決能力」
- 心豊かで他を思いやる生徒（徳）～豊かな人間性 「人間関係形成力」
- 健康でくじけない生徒（体）～健康・体力 「実践力」

- 【目指す学校像】
- 授業に工夫を凝らし、質の高い学力を身につける学校
 - 社会性、人間性を身につけ、心豊かな生徒を育成する学校
 - 自己実現できる生徒を育て、躍進する校風を築く学校
 - 家庭や地域と連携し、共に歩む地域社会に開かれた学校

- 【目指す生徒像】
- 向上心を持ち、主体的に学ぶ生徒
 - 自他共に尊重し、豊かな人間関係を築く生徒
 - 自己実現に向け積極的に活動する生徒

- 【目指す教師像】
- 互いに学び合い高め合う教師
 - 生徒理解に努め、生徒一人一人を大切にしたい指導、粘り強い指導ができる教師
 - 課題意識を常に持ち、創意工夫を凝らすことを厭わない、職務に意欲的に取り組む教師

学校経営方針

- 生徒一人一人を大切に、温かく穏やかな学校
- 自己実現に向けて積極的に活動ができる学校
～自己の成長を実感し、自ら行動を起こすことができる生徒の育成～

本年度の重点目標

- 向上心を持ち、主体的に学びに向かう生徒を育てる
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図り充実させる
- 自他を尊重し、互いを認め合う生徒を育てる～特別支援教育の指導力・組織力の向上
- 行事・特別活動や学習活動を通して自己有用感を育てる

本年度の数値目標

- 「生徒一人一人を大切にしたい指導」に対する肯定的評価を80%以上とする
- 「タブレット端末の効率的・効果的活用」に対する肯定的評価を80%とする

- 「資質・能力」の3本柱と本校の学校教育目標との関係

問題解決能力

人間関係形成力

実践力

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性の涵養

生き働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の
育成

主体的・対話的・深い学び

達成すべき教育課題	達成のための経営目標	重点目標達成のための基本方針
<p>◎生徒の肯定的自己理解に基づく自己有用感の獲得</p> <p>① 確かな学力の育成 <u>・ICT を効果的に活用した授業実践など指導力の向上</u> ・教科横断型の学習など、カリキュラムの工夫 <u>・思考・判断、創造、表現の力を育む授業の工夫</u> ・思考力を向上させる言語活動の充実 <u>・主体的に学ぶ態度の育成</u> <u>→「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる</u> ・基礎基本の習得に向けた家庭学習の定着～<u>学習ソフトの積極的活用</u> <u>・特別支援の視点に基づく授業実践など指導力の向上</u> ・情報モラル教育の実践</p>	<p>◎自己実現に向けた活動の充実と成長を実感させるための指導の工夫</p> <p>①授業の充実に向けた指導力向上、学ぶ力を育てる工夫 <u>・教材研究と指導方法の工夫による、わかる授業に向けた授業改善の推進</u> <u>・ICT を効果的に活用した授業実践→実践能力の向上</u> ・教科横断型の授業実践に向けたカリキュラムの工夫 ・読解力と表現力の育成（受信・受容、思考・判断、発信・提示） ・熟考を求める授業実践 <u>・主体的に学びに向かう態度を育む→「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践</u> ・学習ソフトの積極的活用（授業・家庭学習） ・特別支援の視点に立った環境整備と授業改善の推進 ・情報モラル教育の工夫</p>	<p>①学力向上に向けた指導の工夫 <u>・相互啓発のある活気に満ちた授業の工夫→課題発見と解決、他者との協働、次の学習につなげる学びの追求</u> <u>・「個別最適な学び」・「協働的な学び」やICTの活用など指導の工夫</u>→主体的・対話的で深い学びの実現→「課題発見・探究・表現・解決力」「創造力」を育む→プレゼンテーション実施の機会の充実 ・読み解く力の指導の工夫と充実→情報収集・比較・関連・理解・解釈・推論 ・活動時間（思考・判断・表現）の十分な確保 <u>・主体的な学びの習慣化を図るための指導の工夫と実践</u> <u>→学習ソフトを活用した学習</u> ・特別支援の視点に立った学習環境整備と授業改善の推進 ・情報モラル教育の充実→教科指導とともにセーフティ教室など年間を通して適時的確な指導</p>
<p>② 豊かな人間性の育成 <u>・行事や特別活動（生徒会等）の充実</u> →授業との適切なバランス <u>・人権を尊重できる生徒の育成</u> →自他を大切にできる生徒の育成（人を思いやり、公平公正な判断・行動ができる生徒） ・互いを認め合うことができる生徒の育成 <u>・命の大切さについて学ぶ機会の充実</u> <u>・外部人材を活用した指導の充実</u> ・読書活動の推進</p>	<p>②自他を大切にできる生徒育成 <u>・行事や特別活動への積極的な参加を促す</u> →指導実践や振り返りの工夫 <u>・生徒との関わりを多く持つことを通した自己有用感の育成</u> ・道徳性を養うための教育活動の充実→道徳授業を中心とした効果的な指導 ・いじめを許さない環境づくり <u>・人権尊重、命の大切さに関する指導の充実</u> ・体験や本物から学びとる機会の充実 <u>・外部人材の活用機会の充実</u> ・安全指導・安全教育の充実 ・魅力ある図書館整備と読書活動の推進→電子書籍利用の工夫</p>	<p>②自己有用感の獲得～生徒一人一人を大切にできる指導 <u>・行事・特別活動での体験の積み重ね</u> <u>・積極的に生徒の良さを認め、次の活動に生かす指導</u> →自己の活動を振り返り、成長を実感させる工夫 ・道徳授業の工夫 →授業方法・内容・評価方法 ・いじめ撲滅に向けた指導徹底 <u>・人権尊重や命の大切さに関する指導の充実</u> <u>・連絡帳、心のアンケートの全校体制での取組の継続</u> <u>・全学年における個別面談充実</u> →SC面談・三者面談等 ・安全に関する指導の工夫で自他を守る力を養う ・読書活動の推進</p>
<p>◎保護者・地域とともに歩む開かれた学校づくり ・小中連携の充実 →生徒による直接交流の推進 ・外部機関及び外部評価の活用 <u>・広報活動を通じた信頼される学校づくり</u> ・各種アンケートの回収率をあげる</p>	<p>◎保護者・地域社会に開かれた学校づくり ・学校運営協議会の充実 ・小学校との連携の充実と連続性を充実した活動実践 <u>・体験や外部人材活用の促進</u> <u>・保護者や地域に向けた情報発信による教育活動の共有</u> ・各種アンケートの充実 →実施方法や内容の工夫改善</p>	<p>◎開かれた学校に向けた教育環境の整備 ・小中連携の充実 →教員や生徒の交流連携充実 <u>・体験の機会設定と外部人材活用の充実</u> <u>・たよりやHPでの積極的発信</u> ・各種アンケートの充実</p>

◎教職員の職務の効率化
→働き方の改革
・組織の活性化と効率化
・校務支援システムへの対応と
ICT活用の充実
・人材育成

◎教職員の働き方改革の推進
・職務負担軽減に向けた効率化
の推進
→校務支援システム、ICTの活用
による職務の効率化を図る
・組織的で計画的な人材育成

◎教職員の働き方改革を推進
・職務負担軽減に向けて効率化
を図る→校務支援システム、
ICT活用の工夫と推進
・ラインを活用した確実な育成
→組織的で工夫を凝らした実
践

○特別支援教育

①要支援生徒への適切な支援

・速やかに要支援生徒及び支援内容を把握できる体制整備

→特別支援の視点に立った指導の推進（環境整備・授業改善・指導の工夫等）

- ・専門的支援を受けられる関係機関との連携
- ・障がいの状態に応じた適切な個別指導計画の作成
- ・カウンセリングマインドに基づく教育相談能力の向上
- ・サポートルームとの情報共有に基づく指導の連携を図る

②特別支援学級との連携～交流と共同学習の推進

③特別支援委員会の体制の確立及び活動の充実を図る

1 教育相談の充実～全員面接の実施（1年・2年・3年）

2 生徒の状況把握及び情報提供、支援の方向性の提示などのコーディネートの実施

④特別支援教育の専門性を高めるための研修の充実 → 特別支援委員会による企画・運営

「町田市特別支援教育ハンドブック」及び「通常の学級版」の活用

○特別支援学級

①特別支援学級の教育目標に沿った指導の充実

<特別支援学級の教育目標>

- 1 基本的な生活習慣・態度の育成を図るとともに、生活に必要な基礎学力を高め、幅広い知識と教養を育む
- 2 他者との関わりを深めていこうとする気持ちを育てる
- 3 授業を通して、一定時間取組める体力や集中力を養い、健やかな心身を育む

②通常学級との連携～交流と共同学習の推進

→ 交流や共同学習の方法・内容の改善・工夫を進め充実を図る

○研究・研修及びサービスの厳正

①研究・研修

・授業力を高めるための研究授業の実施

→ICTの活用、「個別最適な学び」、「協働的な学び」をテーマとした授業改善 → 研究授業の実施

・特別支援の視点に立った指導を推進するための研修の実施

・人権尊重や命の大切さに関する指導実践の充実を図る～特別な教科道徳の授業研究、外部人材の活用

・小中一貫教育に関する研修

・生徒理解を深めるための研修～特別支援教育の専門性の向上

・評価方法の工夫・改善を進める～教科部会や授業研究等を通じ共通理解と力量の向上を図る

②サービスの厳正

- ・教育公務員として、全体の奉仕者としての立場の再確認
- ・体罰、交通事故、わいせつ行為などの信用失墜行為の禁止
- ・個人情報の管理の徹底
- ・適切な会計管理と事務処理の徹底
- ・意図的で計画的な研修の実施

○その他の取組

- ・課題解決に向けた教科部会・分掌部会・特別委員会等の効率的運営の実施と活性化を図る
- ・創立50周年行事開催に向けた準備・・・行事委員会を中心とした検討・準備
- ・「町田市教育プラン」→未来型学習の実践・・・ICTを活用した授業実践
- ・「町田市小・中学校における働き方改革プラン」「町田市部活動活動指針」に基づいた取組の推進

◆町田市立南大谷中学校2024年度教育課程

◆東京都・町田市

- ・東京都教育施策大綱 ・東京都教育ビジョン ・町田市教育プラン ・町田市学力向上推進プラン
- ・町田市小・中学校における働き方改革プラン ・町田市部活動活動指針